

日本野球界の危機

～野球の未来のために私たちでもできること～

日本野球界を取り巻く環境は、少子化以上に野球離れが加速しており、野球界の将来が危ぶまれる危機的な状況になっています。

野球は、2020年東京オリンピックの開催国種目に採用はされておりますが、正式種目に採用される見込みが未だ立っていないような状況です。

子どもたちから野球が選ばれなくなっている現状と課題について、皆さんで考えましょう。

1. 現状把握（裏面グラフ参照）

- (1) 学童野球、中学軟式野球、高校野球の各世代の競技人口数の激減
- (2) プロ野球観戦者数の増加、大学野球は増加
- (3) 女子野球人口は増加
- (4) 中学硬式野球は5万人以下程度

どれが本当の実態を表しているのかがわかりにくい

2. 野球離れの原因

- (1) 社会環境の変化（他競技の選択、地上波テレビ減少、親世代が野球離れ）
- (2) 学童野球の親の負担増、金銭的負担増
- (3) 勝利至上主義、指導内容のバラツキによる少年期のケガ増加
- (4) する競技から見る競技へ（高齢化したリピーターファン）
- (5) ライトな野球ファンの減少（気軽に野球遊びができない環境）

その他、様々な要因が絡み合って、子どもや親たちから選ばれなくなった。

3. 課題解決

- (1) 野球界の統一した理念・育成方針が必要
- (2) 子どもの安全管理、障害予防の観点からの育成方針の策定
- (3) 指導者ライセンス制度の導入
- (4) 規律、尊敬、正義の理念を学べるのが野球であり、人材育成の観点での育成
- (5) 金銭、親の負担をなくすようなシステム作り
- (6) 野球ができる広場等の環境整備

4. 私たちにもできること

- ・子供たちに野球を返してあげよう
- ・皆で今、自分でできることをやってみよう
- ・野球は常に進化しています。学ぶことを止めたら、野球界を去ろう
- ・子どもたちから野球を選んでもらえるよう、大人たちが変わろう